



中央中等教育学校校歌 中央高等学校校歌

作詞 草野 心平 作曲 渡辺 浦人

一、春はむらさき 夏は雲
 群青の秋 雪の冬
 白亜に映える 学び舎に
 太陽光は ふりそそぐ
 おお朋がらよ 眉あげて
 火の山の 高きにならえ
 若人よ 腕組みて
 新しき学を きわめん
 群馬中央 われらが母校
 われらは真と美に生きる

二、赤城風を なつかしみ
 仰ぐは四季の 榛名山
 校旗はためく 学び舎に
 われらは集う おおらかに
 おお朋がらよ 胸張りに
 健康に わが身鍛えん
 若人よ こぞりてぞ
 新しき文化 築かん
 群馬中央 われらが母校
 われらは善と義に生きる

中央 同窓会報

第31号

CONTENTS

■ 特別寄稿	3	■ 進路だより	8
■ 母校だより	5	■ 同窓会活動報告	10

■ 題字：8期 廣瀬 正史（少林山住職） ■ 表紙の写真：現在の校舎

令和6年度

通常総会のお知らせ

日時 ▶ 2024年6月22日(土) 17時～
 会場 ▶ エテルナ高崎
 高崎市栄町22-30 TEL027-323-1122

総会終了後、18時より懇親会を予定します
 会費：3,000円（学生1,000円）
 新卒者は無料
 会員のみなさまのご出席をお待ちしています。

*人数掌握の為、懇親会に出席の方は、中央同窓会ホームページにあるアドレス(下記)にご一報いただけると助かります。
gunmachuo.dosokai@gmail.com



発行

群馬中央同窓会

卒業者数 15,506人（中央高等学校 13,697人 中央中等教育学校 1,809人）2024年4月1日現在
 〒370-0003 群馬県高崎市新保田中町184 TEL.027-370-6663 FAX.027-370-4910

ホームページ 「群馬中央同窓会」で検索



中央高等学校
 昭和38年1月1日創立



中央中等教育学校
 平成15年4月1日創立

同窓会長あいさつ



新と旧のHarmony

同窓会長 時澤 秀明

例年、卒業式前日に「同窓会入会式」があります。その場で、各クラスから選ばれた期別幹事の紹介をしていただきます。各クラス2名ずつ、全員で8名ですが、今回で中央中等卒の期別幹事は120名になりました。

式の最後に代表幹事さんからのご挨拶がありました。今年も、同窓会への感謝の言葉とともに、これから同窓会の一員として母校の発展に協力していきたいという、後輩への愛情を感じさせる力強い言葉を聞くことができました。

これまで、こうしたみなさんの気持ちをありがたく感じているながらも、それに十分応えられていなかったという反省のもと、一昨年あたりから期別幹事さんに様々な協力をお願いをさせていただいています。さっそく効果が表れ、令和5年度同窓会総会・懇親会には、中等卒のみなさんが多数出席してくれました。そこで話をしてみて感じたことは、やはり世代の違う人たちの見方、感じ方を取り入れていくことが、同窓会の発展には不可欠だということです。例えば同窓会報を見て同総会はゴルフと飲み会ばかりやっていると置いていたという感想、字数を減らして写真や図を増やしてはどうかという提案がありました。また、同総会の年会費を郵便局に振込に行く時間が取れないので、電子決済を導入してみてもどうかというアイデアも出されました。それがきっかけとなり、電子決済を今年度から導入します。

同窓会運営に若い力をという願いが徐々に形になってきて、今年度は初めて中等卒の方に役員に入ってもらえることが実現しそうです。人生経験が豊富な現役員と斬新な視点を持った新役員の協働により、同窓会活動がさらに活性化していけるよう尽力したいと思っています。

これからも新旧のHarmonyによる群馬中央同窓会役員会を温かく見守っていただき、同窓会活動へのますますのご理解・ご協力をいただければ幸いです。

校長あいさつ



凛とした姿

校長 春田 晋

今年度、中央中等教育学校長として着任いたしました春田です。どうぞよろしくお願いたします。お陰様で様々な教育活動も順調にスタートしています。

さて、4月8日に行われた始業式と入学式で、校歌を耳にする機会がありました。生徒たちの素晴らしい歌声と管弦楽の演奏は、3年ぶりの学校現場に少なからず感じていた私の緊張や不安を一瞬で大きな期待へと変えてくれました。生徒の凛とした姿は、まさに「われらは真と美に生きる」「われらは善と義に生きる」という歌詞そのものでした。そして、中央高校の歴史を受け継ぎながら、新たな時を積み重ね、21年目の春を迎えていることをあらためて感じるようになりました。

現在、世界中で予測困難な社会状況が続いています。そのような中でも「フロンティアスピリット」を忘れず、様々な方の力をお借りしながら、一丸となって中央中等教育学校の新しき学びを極め、新しき文化を築いていきたいと考えています。

今後とも、時澤会長様をはじめ、同窓会会員の皆様の御理解・御協力をお願いします。



特別寄稿

梓からはみ出せ！ 「フロンティア・スピリット」！



伊勢崎市地域おこし協力隊
中等2期 皆瀬 勇太

私が中央中等教育学校へ入学したのは2005年、かれこれもう19年も前のことになります。それでも中央中等で過ごした6年間は新しい冒険の毎日で、今でも鮮明に思い出すことができます。6階建ての真新しい校舎、カフェテリアでの同級生との語り、外国人の先生が当たり前にいる日常、自分たちで考え作り出す朋友祭、気さくで面白い先生たち、海外への修学旅行、そして赤城おろしの猛烈な風！（田んぼに落ちたのは私だけではないはず（笑））。特に自主性を重んじる自由な校風は特徴的で、勝手に水泳同好会を作って顧問になってくださいと唐突に先生にお願いしたり、当時流行っていた芸人（生徒会長金子）の真似を全校集会で生徒会長の金子くんが始めたりと、なかなかやりたい放題だったかなと思います。

そんな中央中等生の特徴と聞かれて思い出すのが、友人が話していた「群馬県中から集まった奇人変人」という言葉です。「奇人変人」というとマイナスイメージかもしれませんが、生徒全員に梓に収まらない個性や特徴があるともいえます。「生徒の個性や能力を伸ばさせ、将来に生きてはたらく真の学力を身につけさせる。」これは中央中等の教育基本計画の一文です。生徒の個性を伸ばす教育が実践されていたからこそ、この言葉が自然と出てきたのではないかと思います。

また、「個性を伸ばす教育」という面で忘れられないエピソードがあります。私はあまり勉学に真面目ではない落第ギリギリの生徒だったのですが、ニュースや本が好きだったこともあり、唯一時事ネタや文章力が自分の中で秀でている能力でした。そこを見抜いてくださったのが、前期課程から担任をいただいていた恩師青木美穂子先生でした。大学入試で小論文の点数比率が高い後期試験に狙いを定めた私に対し、母は「成績的に志望校のレベルがあまりにも無茶だ」と不安がったのですが、それに対して「いえ、大丈夫です。」ときっぱり言い切ったエピソードは今でも我が家の伝説として語られてい

ます。その言葉通り、放課後や卒業式後も粘り強くご指導をいただき、見事志望校に合格することができました。

このような生徒の個性を伸ばす先生方の熱い指導があったからこそ今の自分があるのだと思います。青木先生はじめとして中央中等の先生方には感謝申し上げます。

中等卒業後は県外の大学に進学しました。そこで「世界を自分の目で見てみたい」と思い、単身渡豪して観光ガイドとして働いたり、世界中をバックパッカー一つで旅をして30カ国以上を巡ったりしました。また、学生団体を結成し、「地域の魅力を遊びながら学べる」をコンセプトに「石川トランプ」という商品を、産官学のご協力を得て開発・販売を行うなど、新しいことにチャレンジし続けました。

そのような経験の中で、改めて日本や故郷の群馬県の素晴らしさを感じ、現在は「地域を盛り上げ牽引できる人材になる」という人生目標を掲げ、群馬県を盛り上げる様々な事業に携わっています。メインは伊勢崎市の地域おこし協力隊で、伊勢崎駅から商店街周辺の地域（まちなか）を活性化するため、謎解きまち歩きや神社での縁日などのイベントを企画したり、まちなかユースセンター構想をたちあげたりするなど、様々な人が集えるまちなかを目指して活動を行っています。その他には、故郷である安中市で地域資源を活かした新しい観光商品造成に関わったり、公的機関で中小企業診断士として経営者支援に関わったりと、地域を面的に盛り上げるために、ときにプレーヤー、ときにサポーターとして、日夜活動を行っています。

私の半生を振り返ると、未知に挑む精神＝フロンティア・スピリットが流れているのだと感じます。これは、中央中等の前身である中央高校から受け継いだ大切な価値観であり、中央で過ごした6年間で私の中に自然と蓄積されていたものだったのだと改めて思います。今後もこの精神を大切に、既存の枠組みをはみ出していき奇人変人として群馬県の活性化に貢献していこうと思います。

※活動の様子はこちらをご覧ください



←地域おこし協力隊
Instagram



Facebook →

ISESAKI_INNOVATOR_K

特別寄稿

中央中等で学ぶみなさんへ

東京藝術大学
音楽学部器楽科コントラバス専攻3年
中等12期 贄田 美羽

群馬県立中央中等に在学中の皆様、初めまして。
中央中等12期の贄田美羽（にえだみう）と申します。
現在、中央中等に在学されている皆様は私のことを
知らないと思いますので、
軽くですが、私の自己紹介をさせていただきます。

私は、在学中は管弦楽部に所属し、コントラバスを
5年間担当していました。現在、東京藝術大学音楽
学部器楽科コントラバス専攻3年に在学しています。

中等時代に6年間向かい合ってきた『勉学』という
分野ではなく、
部活動で出会った楽器の『演奏』で受験した大学に
通う私だからこそ、
今、中央中等に在学中の皆様に、私の考えを精一杯
お伝えできたらと思います。

さて、今、皆様は何に頑張っているのでしょうか？
もちろん、勉学が一番最初に挙がってくるのだと思
います。
私も前期は英語の自習ノート、数学のWinpassに相
当苦しめられました。
後期は小テスト、シス単、ビンテージ、古典の単語
のテスト。

正直、毎朝本当にしんどいですよね。

次は部活動でしょうか？

勉強と部活の両立は大変ですよ。

放課後、土日も部活に取り組み、日々課題に追われ、
本当に頑張っているのだと思います。部活に入って
いなくても、クラブチームだったり、塾だったり、
様々な習い事がある中で精一杯の努力をしている方
もみてきました。

当時の私は、皆様のように頑張る友達を見て
「自分なんて、勉強も出来ないし、演奏も管弦には
私より上手な同級生もいるし…」と考えたりしてい
ました。

とても優秀な友達が多すぎて、どうしても悲観して
しまっていたのです。

悔しくて、勉強したり練習したりするのですが、成
績も上がっている感じはせず、心はすり減ってい
きました。

今思えば、受験期は特に、自分は何がしたいのかも
考えることもできない、時間を気にして、ただ勉強
する、練習する、ロボットのような状態になって
いたと思います。

それも、決して悪いことではなかったと思いますが、
皆さんには自分が何をしたいのか、自分がどうい
う性格なのか、大切なものは何かを考えてみてら
いたいと思います。

本物のロボットやAIが台頭してきている今、頭脳
や単純な考え方は人間は全く対抗できないのです。

私の勉強している音楽においても同じで、ただ音を
並べるだけでは、
コンピューターの打ち込んだ音声に勝ることはでき
ません。
自分しかできない音で、表現で、音楽を作ることが
必要なのです。

『勉学で自分を表現をする』というのは難しいかも
知れないですが、
自分が得意だと感じている物を大切にしていれば、
いつか『自分だけの何か』を得ることができると思
います。
自分が自分であることを誇りに思えるように、私も
引き続き努力します。

一緒に頑張りましょう！



©Ayane Shindo

※学年は令和6年3月現在のものです

生徒会長あいさつ

私たちはどう生きるか？

令和5年度生徒会長 5年 相原 珠貴

毎日部活で忙しく、大量の課題や毎回の小テスト
に追われ、学年があがるにつれて、お昼休みも予習
やテスト直前の見直しに忙殺される中学生が多くな
る。日々時間に追われて夢中で過ごしており、物事
をじっくり考える余裕など残されていない。

生徒会活動も5年目に突入した今期は、会長とし
て全体を見ていく立場になった。元気な20期生徒
会メンバーの個々のエネルギーが合わさって流れと
なり、校則の一部改正に着手し、毎年行ってきた対
面式も刷新した。顧問の先生の指導の元、生徒会の
インスタグラムも開設、他校の生徒会との合同
zoom会議にも参加し、学校間の違いに驚いた。中
等の良いところも実感した。

学校行事もずいぶん変わってきた。昨年の体育祭
は雨の心配をしなくてすむ高崎アリーナで、前期合
唱コンクールは昌賢学園ホールで、FEWC発表会
はベイシア文化ホールでそれぞれ行われ、多くの保
護者に参加していただいた。体育祭での妻まじいま
での団結力、FEWCの同じ高校生とは思えない代

表者の発表、中学生として誇らしい。ジュネーブ研
修、ボストン研修、シンガポール修学旅行も昨年か
ら復活した。今年度からはイノベーションに着目し
たシリコンバレー研修も始まると聞いていて羨まし
い。コロナ禍で失われた青春の一部は戻ってはこ
ないが、形を変えた、新しい中等が姿を現してきた。

様々なことが目まぐるしく変化していくこの難し
い時代を、私たちはどう生きていけばよいだろう？
将来起こりうる経験したことの無い不測の事態に向
かい合い、行動していくことができるだろうか？人
としての道を外れず、中等のスローガンである地球
市民として、社会に貢献できる自分でいられるだろ
うか？未来は不透明でとても不安だが、前に進み続
けるために、今はこの中等で最大限に自分を磨き上
げよう。失われた機会を嘆くことなく、今日の前に
与えられたものに感謝して、目標に向かって挑戦し
続けていきたい。諦めることはいつでもできる。た
とえどんなに高い壁であっても挑むことを恐れず、
しなやかで若い精神と柔らかな視点を持って、希望
に輝く新たな世界を生き抜いていこう！

中央高校から引き継がれる歴史に自分たちも足跡
を残せますように。

Keep a Frontier Spirit!

活躍している後輩達

県「高校生リバースメンター」事業に参加

本校4年生の倉林虎輝さんが、本年度初めて実
施された県の「高校生リバースメンター」事業に
参加し、eスポーツを通じた地域活性化策を山本
一太知事に提言しました。

高校生リバースメンターは高校生が知事の相談
役となり、斬新な発想で助言する事業で、県内の
高校生10人が観光や医療、教育、地域振興とい
った取り組みに関して独自の視点を生かした提言
をしました。



eスポーツで地域の活性化

4年 倉林 虎輝

高校生リバースメンターとは「高校生が知事の
相談役となって、政策提言をする」活動のことで
す。この活動を部活の先生から教えていただき、

参加することとなりました。私は山本一太群馬県
知事に「eスポーツで世代を超えたコミュニティ
を」という提言をしました。これは年齢、性別関
係なく行うことのできるeスポーツを使って群馬
県内に新たなコミュニティを作成するというもの
です。提言前の三ヶ月間、二週間に一度のペース
で、省庁の方などに提言案を聞いていただき、意
見をブラッシュアップしていきました。提言後、
矢庭に担当課の方から声をかけていただき、eス
ポーツのイベントを開催することが決定しました。
私がこの活動から学んだことは「無意識の先入観」
の危うさです。「社会は簡単に変わらない」「声に
出しても無駄だ」と活動前は思っていましたが、
実際は局所的ではありますが実現されました。い
かに無意識の先入観が活動することを妨げている
のかを身をもって実感しました。今後もeスポー
ツコミュニティ発展のために活動していきたいと
思うとともに、学校外での活動を通して自身の価
値観をより広げていくことの大切を学ぶことがで
きました。

※学年は令和6年3月現在のものです

令和5年度 体育祭

コロナ禍で3年ぶりの開催となった体育祭は、初の試みとして高崎アリーナで行われました。

室内開催ということで今までとは異なることも多く、準備や当日の運営は想像を絶する苦労がありました。実行委員を中心に何度も何度も話し合い、知恵を出し合って皆で協力し、一つ一つ積み重ねて練習を繰り返し、ようやく当日を迎えることができました。

当日は笑い有り、感動有り、充実した1日となり、また、一生の思い出作りの日となりました。

障害物競争



騎馬戦



ラケット挟み競争



台風目



UFO



ボール集め競争

実行委員長あいさつ

令和5年度体育祭実行委員長
6年 大瀧 泰登

私が実行委員長に立候補したのは、中央中等生活の最後の1年に何か大きな役割を果たしてみたいという気持ちからでした。準備期間の2ヶ月間はとても大変でしたが、とても多くの経験を得ることができました。また、当日はとても大盛り上がりで、今までの実行委員の努力が素晴らしい形で実を結んだ様子を見ることができ感動しました。素晴らしい経験をする機会をくださった実行委員の皆と先生方、生徒・関係者の皆さんには感謝しかありません。



全力応援



16人17脚



団対抗リレー

※学年は令和6年3月現在のものです

開校記念講演会

講師 糸原 圭太郎 氏

講師の紹介



京都大学経済学部経済経営学科を卒業。2014年から3年連続で日本テレビ系列の番組『最強の頭脳 日本一決定戦! 頭脳王』のファイナリストになる。小学生の頃から小倉百人一首競技かるたを始め、現在は八段の腕前。2019年から2021年までの3年間、日本一の座である「名人位」に就く。現在は論理力、記憶力、没頭力を同時に高めるエキスパートとして、全国各地で講演活動も行っている。また、オンライン個別指導塾「となりにコーチ」の代表講師として、小学生から社会人までの受講生の95%が成績を向上させている。具体的には、「1ヵ月でTOEIC®550点から750点に向上」「1年で偏差値35から70に向上し、一流大学に合格」「3ヵ月で定期テストの成績を200位から2位に向上」などの成功事例がある。2022年には、医師の本田真美と協力して、個々の記憶特性を診断する「認知特性」の研究者として、「本田式認知特性研究所」を立ち上げるメンバーとなる。さらに、学習参考書をテーマにした漫画『ガクサン』（講談社）の監修者でもあり、群馬県安中市の観光大使も務めている。

令和5年11月1日、中央中等教育学校において、開校記念講演会が開催されました。中等第1期の卒業生である糸原圭太郎さんを講師に迎え、全校生徒と先生方の約750名が一時間あまりの興味深いお話に聞き入りました。糸原さんは、テレビのクイズ番組のファイナリスト、小倉百人一首競技かるたの名人位をはじめ、個別学習塾「となりにコーチ」の代表講師として多くの成功事例が注目を集めるなど、様々な分野で大活躍している方です。中等での猛勉強の体験談を予想していた我々でしたが、予想に反し、発想の豊かさから生まれる、個性的で理にかなった様々な経験をお話してくださいました。それは、学習面だけにとどまらず、部活動や生徒会



活動など学校生活全般におよび、生徒たちが自身の日々を振り返るのに大きな示唆を与えてくれました。講演終了後には様々な質問が出され、とても充実した講演会となりました。



令和6年4月1日付 学校教職員人事異動（敬称略）

転出・退職者			
職名	【教科】	氏名	転出先等
校長	【公民】	中西 信之	退職
副校長	【国語】	新免 誠	前橋市立大胡中学校
教諭	【数学】	安部 秀勝	桐生清桜高校
教諭	【家庭】	星野 康弘	前橋青陵高校
教諭	【理(化)】	善養寺真弓	高崎北高校
教諭	【英語】	諸星亜樹子	前橋高校
教諭	【社会】	足立 晋	藤岡市立西中学校
教諭	【理(物)】	福島 興征	高崎女子高校
教諭	【保健体育】	北嶋 将志	聾学校
教諭	【地歴(地)】	龍見 陽介	安中総合学園高校
教諭	【地歴(日)】	内山 一樹	太田市立太田高校
教諭	【英語】	春山佳奈子	高崎市立並榎中学校
教諭(暫定再任用)	【数学】	外处 直哉	退職
教諭(育休補)	【国語】	三島 友里	伊勢崎高校
教諭(配偶者代替)	【英語】	小見慎太郎	利根実業高校
実習助手(地公臨)	【理科】	北村 直之	渋川市立渋川北中学校
養護教諭		住谷 洋子	退職
副主幹		坂口 泰之	藤岡工業高校

転入者			
職名	【教科】	氏名	転入元
校長	【国語】	春田 晋	県教委義務教育課長
副校長	【国語】	宮前 嘉則	県教委義務教育課教科指導係補佐
教諭	【家庭】	浦野智佳子	榛名高校
教諭	【英語】	瀧澤 敦子	前橋女子高校
教諭	【数学】	中嶋 賢一	前橋女子高校
教諭	【英語】	寺島 優美	配偶者代替休職から復帰
教諭	【体育】	横澤 拓也	前橋市立前橋高校
教諭	【社会】	安井 航	高崎市立群馬中央中学校
教諭	【数学】	田村 司	桐生高校
教諭	【地歴(日)】	前原 一輝	館林高校
教諭	【理(物)】	松村 命輝	沼田高校定時制
教諭	【英語】	田島 大地	安中市立秋間小学校
教諭(暫定再任用)	【地歴(地)】	吉井 靖明	伊勢崎高校
教諭(地公臨)	【理(化)】	金子 和明	太田女子高校
教諭(育休補)	【国語】	高田 素子	東京農業大学第二高校
教諭(育休補)	【数学】	井上 尚俊	富岡高校
教諭(育休補)	【英語】	今泉英理子	
実習助手(地公臨)	【理科】	山岸 未嶺	
養護教諭		柴田 史子	前橋東高校
事務		毒島 成美	新卒
学校経営アドバイザー		小林 智宏	高崎高校

令和5年度卒業生(15期生)進路概況

群馬県立中央中等教育学校進路指導部

1 概況

令和6年3月に本校を卒業した15期生114名(男子56名、女子58名)は、後期課程におけるさまざまな行事が中止または変更される状況の中で、「第1志望校、現役合格」をめざして一人ひとりが前進し、自分の夢や希望を実現すべくそれぞれの進路先に進みました。現役進学率は、95.6%でした。

15期生は、現行の教育課程の最終学年であるため、さまざまな報道で安全志向が強まるといわれている中でも、自分を最後まで信じ、強い気持ちで受験に挑んだように思います。後期生活がほぼコロナ禍である中でも、それぞれが前を向いて着実に前進し、心身ともに大きく成長した証であろうと思います。近未来の社会において、本校の教育理念である「World Citizen」として活躍するものと確信しています。

2 最難関大、医学部医学科

現役生は、東京大に3名(文I、文II、文III各1名)のほか、京都大に2名(薬、工各1名)が進学します。京都大2名のうち1名は特色入試での合格です。男女別内訳は男子4名、女子1名で、東京大はいずれも男子です。

医学部医学科については、群馬大に3名進学します。いずれも男子です。

3 国公立大

最難関大を含む国公立大には現役生のべ59名が合格し、そのうちの49名が進学します。北は北海道から、南は福岡県まで、東日本を中心に進学していきます。難関10大学では、上記東大・京大の5名のほか、東北大に6名、大阪大に2名、北海道大、九州大、一橋大にそれぞれ1名ずつ進学します。

4 私立大

受験生人口が最も少なかったこともあってか、15期生の合格率は高かったように思います。最多進学先は早稲田大で10名が進学します。そのうち指定校推薦による進学者は6名でした。

5 過年度卒業生(浪人生)【参考】

過年度卒業生は、岩手医大(医)、獨協医大(医)、東京女医大(医)、愛知医大(医)、明治大(理工)、法政大(生命科学)等に合格しました。

6 展望

「大学入試共通テスト」では、思考力・判断力が求められます。来年度入試は教育課程の変更に伴い、教科として「情報」が加わったり、科目名が変わったり、科目内容が変わったりしていますので、これ

までの通りの対策では対応できないかもしれません。

本校は、FEWC課題研究をはじめとして、オープンクエスチョンにも対応できる力を育てています。また、グローバル教育の推進とさらなる授業改善が、大学入試改革への対策に直結するものと考えています。生徒全員の「第1志望校、現役合格」を実現するために、今後も関係の皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。

【表1】卒業生の進路別実人数(現役生のみ)

卒業期	卒業生数	大学		準大学等	就職	進学努力	現役進学率(%)
		国公立	私立				
1	124	50	53	4	0	17	86.3
2	124	51	56	4	0	13	89.5
3	119	50	48	0	0	21	82.4
4	120	49	54	3	0	14	88.3
5	124	60	52	4	0	8	93.5
6	119	61	46	3	0	9	92.4
7	122	60	53	2	0	7	94.3
8	122	44	62	5	0	11	91.0
9	123	52	55	1	0	15	87.8
10	122	57	59	0	0	6	95.1
11	122	65	43	3	0	11	91.0
12	119	54	61	0	0	4	96.6
13	116	45	61	4	0	6	94.8
14	119	64	52	0	0	3	97.5
15	114	49	56	4	0	5	95.6

【表2】15期生文理別、男女別進路先(実人数)

	卒業生数	大学		準大学等	就職	進学努力
		国公立	私立			
文系男子	25	10	13	1	0	1
文系女子	33	8	25	0	0	0
理系男子	31	19	10	0	0	2
理系女子	25	12	8	3	0	2

- ・準大学等…文部科学省所管外の大学校のほか、短大、専修各種学校、海外の大学等を含む
- ・現役進学率…(卒業生数-進学努力)÷卒業生数×100



大学等合格者数(最近の3年間)

群馬県立中央中等教育学校進路指導部

- ・年度は入試年度
- ・数字はのべ人数
- ・()内は過年度卒業生の内数
- ・大学名、学部名等は現在の名称
- ・準大学等…短大、専修・各種学校、海外の大学等を含む
- ・令和6年3月末日までの判明分

国立大学

大学名	R4	R5	R6
旭川医科	1		
北海道		1	1
弘前	1	1	
岩手	1		
東北	5	11	7
山形	2	2	1
福島	1	1	1
茨城	1		
筑波	1	3	1
宇都宮	1 (1)		2
群馬(情報)	2		1
群馬(共同教育)			3
群馬(理工)	2	2	3
群馬(医-医)	2 (1)	2	3
群馬(医-保健)		1	
千葉		4 (1)	1
お茶の水女子	1	3	1
電気通信	1	1	2
東京	2	5 (1)	3
東京医科歯科		1	1
東京外国語	1		3
東京学芸	2		1
東京工業		3	
東京農工			1
一橋	1	2	1
横浜国立	1	2	1
上越教育	1		1
新潟	2	1	2
富山		1	
金沢		5	1
信州	3	1	2
岐阜		1 (1)	
名古屋	3	1	
京都	2	3	2
京都工芸繊維		1 (1)	
大阪	1		2
奈良女子			1
島根		1	
広島	1		
九州	1 (1)	1	1
大分	1	1	
合計	44 (3)	62 (4)	50

公立大学

大学名	R4	R5	R6
釧路公立	1		
秋田公立美術		1	
会津	1		
群馬県立県民健康科学	1		1
群馬県立女子	1	2	
高崎経済	3	8	2
前橋工科			2
東京都立			1
神奈川県立保健福祉	1		
横浜市立	1	1	1
長岡造形	1		
都留文科	1	2	2
長野		1	
長野県立		1	
愛知県立	1		
名古屋市立	1		
京都府立		1	
合計	13	17	9

私立大学(抜粋)

大学名	R4	R5	R6
青山学院	6	7	12
慶應義塾	8 (1)	20 (1)	19
国際基督教	1	1	
駒澤	6	4	2
芝浦工業	18	24	16
上智	20	18	23
専修	7	7	9
中央	22 (1)	16 (2)	24
東京女子	6 (1)	5 (1)	3
東京理科	18	41 (2)	21
東洋	8 (1)	16	31
日本	10	17	7
日本女子	4 (1)	1	5
法政	17	25	19 (1)
明治	20	27	31 (1)
立教	17	21	18
早稲田	18 (1)	31 (2)	31
同志社	1	6	2
立命館	2 (1)	10	3
合計	404 (8)	432 (14)	475 (6)

準大学等(抜粋)

学校名	R4	R5	R6
気象大学校	1		
防衛大学校		1	
防衛医科大学校		3 (1)	
合計	10	4 (1)	3

収支報告

令和4年度
群馬中央同窓会決算

■ 一般会計				
収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差引増減	備考
繰越金	287,252	287,252	0	
運営費計	3,182,000	3,198,000	16,000	
入会金	1,190,000	1,190,000	0	10,000円×119名
特別会費	952,000	952,000	0	8,000円×119名
年会費	1,040,000	1,056,000	16,000	2,000円×528名
総会会費	100,000	0	△100,000	
特別積立会計より	1,700,000	1,000,000	△700,000	
その他収入	148	10	△138	預金利息
合計	5,269,400	4,485,262	△784,138	

■ 一般会計				
支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差引増減	備考
会議費計	330,000	100,280	229,720	
総会	250,000	58,260	191,740	通常総会
会議費	80,000	42,020	37,980	役員会
事業費計	4,290,000	3,737,464	552,536	
会員親睦費	150,000	100,000	50,000	活動費補助
母校寄与事業	1,000,000	1,000,000	0	図書蔵書購入ほか
会報制作費・発行費	2,800,000	2,461,545	338,455	
行事費	300,000	145,919	154,081	開校記念式典ほか
Webページ設置管理料	40,000	30,000	10,000	Webページ管理料
役員費計	130,000	85,892	44,108	
通信費	10,000	0	10,000	
払込手数料	120,000	85,892	34,108	年会費払込料加入者負担額
渉外費	100,000	1,815	98,185	定期演奏会祝電
広告費	50,000	22,000	28,000	高校野球ガイド広告掲載料
慶弔費	100,000	87,955	12,045	香典、供花
卒業記念品費	100,000	86,284	13,716	卒業証書ホルダー
転退職員餞別	100,000	100,000	0	転退職員餞別
積立金	0	0	0	
予備費	69,400	0	69,400	
合計	5,269,400	4,221,690	1,047,710	

収入総額4,485,262円 - 支出総額4,221,690円 = 263,572円 (次年度へ繰り越し)

■ 特別積立会計				
収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差引増減	備考
繰越金	30,789,342	30,789,342	0	
一般会計繰入金	0	0	0	
その他収入	658	233	△425	預金利息
合計	30,790,000	30,789,575	△425	

■ 特別積立会計				
支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差引増減	備考
同窓会費一般会計へ	1,000,000	1,000,000	0	
周年事業	0	0	0	
その他支出	29,790,000	0	29,790,000	
合計	30,790,000	1,000,000	29,790,000	

収入総額30,789,575円 - 支出総額1,000,000円 = 29,789,575円 (次年度へ繰り越し)

監査の結果、適切と認めます。
令和5年3月31日 会計監査 工藤 雅史 生沼 英治

令和5年度
群馬中央同窓会予算

■ 一般会計				
収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
繰越金	263,572	287,252	△23,680	
運営費計	3,130,000	3,182,000	△52,000	
入会金	1,150,000	1,190,000	△40,000	10,000円×115名
特別会費	920,000	952,000	△32,000	8,000円×115名
年会費	1,060,000	1,040,000	20,000	2,000円×530名
総会会費	200,000	100,000	100,000	
特別積立会計より	1,700,000	1,700,000	0	
その他収入	128	148	△20	
合計	5,293,700	5,269,400	24,300	

■ 一般会計				
支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
会議費計	330,000	330,000	0	
総会	250,000	250,000	0	通常総会
会議費	80,000	80,000	0	役員会
事業費計	4,580,000	4,290,000	290,000	
会員親睦費	100,000	150,000	△50,000	活動費補助
母校寄与事業	1,700,000	1,000,000	700,000	図書蔵書、地球市民語学研修補助ほか
会報制作費・発行費	2,600,000	2,800,000	△200,000	
行事費	150,000	300,000	△150,000	開校記念式典補助ほか
Webページ設置管理料	30,000	40,000	△10,000	群馬中央同窓会ホームページ管理料
役員費計	95,000	130,000	△35,000	
通信費	5,000	10,000	△5,000	
払込手数料	90,000	120,000	△30,000	年会費払込料加入者負担額
渉外費	30,000	100,000	△70,000	交際費
広告費	40,000	50,000	△10,000	高校野球ガイド広告掲載料ほか
慶弔費	70,000	100,000	△30,000	慶弔
卒業記念品費	90,000	100,000	△10,000	卒業証書ホルダー
転退職員餞別	50,000	100,000	△50,000	転退職員餞別金
積立金	0	0	0	特別会計積立金
予備費	8,700	69,400	△60,700	
合計	5,293,700	5,269,400	24,300	

■ 特別積立会計				
収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
繰越金	29,789,575	30,789,342	△999,767	
一般会計繰入金	0	0	0	
その他収入	425	658	△233	
合計	29,790,000	30,790,000	△1,000,000	

■ 特別積立会計				
支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
同窓会費一般会計へ	1,000,000	1,000,000	0	
周年事業	0	0	0	
その他支出	28,790,000	29,790,000	△1,000,000	
合計	29,790,000	30,790,000	△1,000,000	

お知らせ

◆1977年(昭和52年)2年4組クラス会

1977年(昭和52年)2年4組の皆さん、クラス会を開きましょう。

小林秀光先生が初めて担任したクラスである1977年(昭和52年)2年4組のクラス会は、過去に一度開いた事がありましたが、その後の皆さんの連絡先などが分からなくなり記憶も曖昧になってしまい、同窓会報にてお知らせする事といたしました。

2年4組の皆さん、6月22日(土)エテルナ高崎で行われる「群馬中央同窓会」に参加してください。群馬中央同窓会では、クラス・同期・部活動別のテーブルを作って頂く事も可能です。2年4組のテーブルを作って頂き、小林先生を囲みクラス会の相談をしたいと存じます。

1977年(昭和52年)2年4組 14期 森下 齊

◆中央高校ラグビー部OB会の一時休会について

ラグビー部OB会Facebookページでも告知しましたが、2023年(令和5年)6月24日(土)、ラグビー部OB会の正副会長と事務局員により今後のOB会の運営について協議しました。

そこで現事務局員の退任が承認され、その後、同Facebookページにて期限を定めて事務局継承者を募集し、応募があれば活動を継続すること、なければOB会をいったん休会とすることが決議されました。

期限までに継承者の応募がなかったため、ラグビー部OB会は休会といたします。なお、手許金¥21,315については、朋友基金へ寄付いたしましたのでご了承ください。

前事務局 14期 森下 齊

朋友会ゴルフコンペ



11月3日(金)にベルエアカントリークラブにおいて、朋友会第83回ゴルフコンペが開催されました。同窓会員21名に参加していただき、爽やかな秋空の下、いい汗を流しました。

朋友会ゴルフコンペは、毎年4月29日と11月3日の2回開催しています。同窓会員のみなさんご参加を、心よりお待ちしております！

連絡先は以下のとおりです。

佐藤 義久(中央高校11期) 携帯：090-3539-5745

E-mail：secfield@olive.ocn.ne.jp

首都圏支部報告

本年度首都圏支部総会・懇親会を10月頃に開催予定です。

詳細は6月以降、ホームページでご確認ください。

令和5年度 同窓会組織役員

- | | |
|--|--|
| <p>■ 会長
時澤 秀明 (13)</p> <p>■ 副会長
佐藤 義久 (11)
川島 陽一 (14)</p> <p>■ 書記
福田 幸正 (8)
鈴木 正治 (8)</p> <p>■ 会計
小和瀬一幸 (14)</p> <p>■ 会計監査
工藤 雅史 (12)
生沼 英治 (17)</p> | <p>■ 理事
藤川 清幸 (11)
砂長 聡 (14)
反町 雅浩 (14)
関口 朋克 (20)
阿久津 等 (31)</p> <p>■ 首都圏支部長
後藤隆次郎 (9)</p> <p>■ 首都圏支部役員
上原 裕一 (9)</p> <p>■ 顧問
塚越 陽平 (1)
塚越三三男 (2)
市川 光則 (6)</p> |
|--|--|

※()数字は中央高校卒業期数

令和5年度 群馬中央同窓会事業報告

- 4月7日(金) 中央中等教育学校第20回入学式出席
- 4月21日(金) 中央中等教育学校教職員歓送迎会出席
- 4月27日(木) 第1回役員会(役員組織、総会、会報等)
- 4月29日(土) 第82回朋友会ゴルフコンペ
- 5月18日(木) 同窓会報30号発行
- 5月25日(木) 第2回役員会(総会準備等)
- 6月24日(土) 令和5年度群馬中央同窓会通常総会懇親会
- 7月13日(木) 第3回役員会(総会反省、開校記念式典等)
- 11月1日(水) 開校記念式典出席
- 11月3日(金) 第83回朋友会ゴルフコンペ
- 11月16日(木) 第4回役員会
- 1月18日(木) 第5回役員会
- 2月29日(木) 中央中等教育学校第15期卒業生同窓会入会式出席(記念品を贈呈)
- 3月1日(水) 中央中等教育学校第15回卒業式出席
- 3月7日(木) 第6回役員会

令和5年度

通常総会・懇親会開催

令和5年6月24日(土)、エテルナ高崎において、令和5年度群馬中央同窓会の定期総会および懇親会が開催されました。

コロナのために中止や縮小での開催が続いており、通常の規模での開催は4年ぶりとなります。役員会では、できるだけ多くの皆様に参加していただこうと、各団体や期別幹事のみなさんに参加者のとりまとめを依頼したり、電話で参加を呼びかけたりと、人集めに力を入れてきました。その甲斐あってか、約60名の皆様に参加していただくことができました。

特に今回は、中央中等教育学校の卒業生のみなさんにも多数参加していただき、にぎやかで楽しい懇親会となりました。お忙しい中、校長先生、副校長先生、教頭先生にもおいでいただき、たいへんありがとうございました。

来年度は、もっと早い時期から団体や期別幹事に連絡をさせていただきます。たくさんの方が集い、新たな出会いの場になってくれることを願っています。



お知らせ

◆同窓会『期別幹事』のみなさまへ

6月24日(土)、エテルナ高崎で開催されました令和5年度群馬中央同窓会・懇親会には、3年ぶりということもあり、約60名の会員の皆さまにご出席いただくことができました。

これは、こちらから事前に、同級生への周知をお願いした期別幹事さん方のご協力のおかげだと感謝申し上げます。

しかし、中には、住所が変わったために、郵送した依頼文書が戻ってきてしまう期別幹事さんもいらっしゃいました。住所変更をされた場合には、同窓会ホームページにある「**会員情報の変更**」または「**メール**」にてご連絡をいただくようお願いいたします。

また、ご都合により期別幹事を交代する場合にも、同様にご連絡いただくようお願いいたします。

群馬中央同窓会活動の充実・発展のためには、期別幹事さんのご協力が欠かせませんので、ご理解・ご協力をよろしくをお願いいたします。

◆次号「群馬中央同窓会報 第32号」への投稿をお待ちしております。

下記の説明をご覧ください、ご投稿ください。

▶発行 2025年5月中旬 ▶体裁 A4判 16頁(予定)

▶部数 12,000部 ▶字数 1,000字以内。テーマは“後輩達へのメッセージ”としますが、必ずしもこだわりません。住所、氏名、年齢、卒業年、連絡先(原稿の確認が必要な場合のメールアドレス、携帯電話など)を明記。▶締切 2024年7月31日(水)

▶送付先 郵 送：〒370-0003 群馬県高崎市新保田中町184 群馬中央同窓会(中央中等教育学校内)

メール：gunmachuo.dosokai@gmail.com

諸事情により掲載されない場合もあります。また、原稿は一部手直しする場合があります。詳細はホームページをご覧ください。

年会費振込についてのお願い

会費は同窓会の運営のほか、教育支援等、母校の発展のためにも使われています。趣旨をご理解いただき、年会費2,000円を納入頂けますようお願いいたします。なお、お振込みは従来の方法の他、オンライン決済も可能になりました。詳細は同封の別紙をご覧ください。

■編集後記に代えて

同窓会報31号の発行の運びとなりました。ご尽力を頂いた皆様に感謝いたしますとともに、心より御礼を申し上げます。

さて、過日中央中等教育学校の第15回卒業証書授与式が数年ぶりに全校生徒列席のもと執り行われ、新たに114名の後輩たちが私達の仲間に加わりました。中等の卒業生は1,800名を超え、この数字は全会員数の1割以上を占めることとなります。第1期生も30歳を過ぎ、社会の第一線で大活躍をしている話も時折耳にする昨今、当会においても徐々に中等の卒業生を中心に活動していく時期が来るかと思えます。私達中央高卒業生としてもそんな逞しい後輩達の姿を眺めつつ、より良い会に発展させるために引き続き尽力していきたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。